



# あだいに☆

# 111号

令和6年5月20日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>

〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西4-30-E ☎(018)872-1022 ☎(018)872-1021



## 目次

### 特集 車の話

- ・タイヤ交換は自分でするな 岩村文彦 … 2
- ・憧れのベンベー 今野則和 … 3
- ・車の遍歴 ~エピソード・ゼロ~ 秋元正年 … 4
- ・自主コンサートの経験 田村千夏 … 5
- ・家族と車 伊藤善昭 … 6
- ・「車」のペシミズム 三浦一樹 … 7
- ・救急車に乗った話 ~霊柩車の前に…~ 佐々木康雄 … 8
- 理事会 … 9
- 会長レター<sup>⑳</sup> こんなこともあります 佐々木範明 … 10
- 生涯教育講座 … 11  
後藤 尚 先生 / 福井 伸 先生

- 新入会員 … 13  
越川静和 / 柴田暢介 / 田村芳一
- 私のおすすめ 菅場 恵 … 16
- ワンポイントアドバイス<sup>㉑</sup> … 17  
伊藤奈瑠美 さん / 小林さやか さん
- ゆるせぬものをゆるす心 二つの新聞記事よりー 関 啓二 … 18
- 続・入院しました 肥田野文夫 … 19
- 愛犬「くー」の災難 相澤 修 … 20
- ふんふんコラム … 21
- 洪水から9カ月 大窪天三幸 … 22
- 今日の診察室から<sup>㉒</sup> 田村広美 … 23
- ナイトキャップ … 24
- 編集後記 … 25
- 表紙説明 … 26

# 特集 車の話

車は、単なる移動手段から趣味やこだわりまで、ドライバーの体と様々な思いを乗せて走っている。  
そこで今回は、愛車遍歴、家族や知人の車に関する話、海外経験、救急車の同乗体験、往診など車に関わるエピソードや蘊蓄を語って頂いた。



## タイヤ交換は自分でするな

大瀧村診療所（大瀧村）

岩村 文彦

私の車は2014年製造の日産エクストレイル2000ディーゼルターボ、クリーンディーゼルの最終型です。それも今どき貴重なマニュアル車。ラゲッジスペースに雑に荷物が積めるので、スキーに行くときなどは重宝しています。ランクルほどではないけれど結構でかい車なので、タイヤも大きくて重

たい。なのでタイヤ交換は結構大変です。僕はカーマニアではないけれど、若干のクルマ愛があるのでタイヤ交換はなるべく自分でやってみました。ある事件が起きるまでは…。  
当時は長野県の八ヶ岳山麓に住んでました。タイヤ交換時期は冬は11月末から12月頭、春は5月の連休中でしたね。ある年

の冬、タイヤを換えてルンルンと走っていました。何日かして走っているとコトコトと音がするの気が付きました。気にしながらも特に車の挙動に問題がなかったたのでそのままにしていました。確かもう雪が降ってましたね。休みの日の午後、妻を乗せて小淵沢方面に買い物（だっと思）に出ました。そしてら：コトコト音が大きくなっています。そしてしばらく走るとだんだんそれがひどくなってきました。これはおかしい。行きつけの自動車屋さんは諏訪湖の近くなので、小淵沢行きは諦めて諏訪に進路変更。しかしそのうちカーブを切るたびに車体がガタつくようになってきたのです。いよいよまずい。何が起きているのか分からなかったたので、とにかく車屋さんまで行くとうと走り続けました。立場川近くの畑の横を走っているときにガタツキがいよいよひどくなり、突然車の左前がガクンと落ちて走れなくなりました。そして、道路わきの雪の積もった畑

の中をタイヤが一個転がっています。まるで映画の一場面。左前のタイヤがホイールごと外れてしまっただけです。  
何でそんなことになったか。結論から言うと、タイヤを換えたときにナットの締め付けが甘かったんです。走っているうちにナットが緩んでタイヤが微妙に揺れていたため、コトコトと音がしていたのでした。知らないうちということは恐ろしい。そのまま走り続けたためさらにポルトに負担がかかって、最終的にポルトが4本とも折れてタイヤが外れてしまったのです。タイヤが転がった先が畑でよかつ



鷹巣の大太鼓  
（道の駅たかのす大太鼓の里）  
こんなのが転がってきたら…

た(一)

それほど車が多くない田舎道だったので、そのまま救援隊が来るのを待ちました。キャリアカーに載せられて諏訪まで搬送。正月をはさんで修理に3週間くらいかかりました。で、今でもその車に乗ってます。



## 憧れのベンベ

男鹿みなと市民病院(男鹿市)

今野則和

これといって趣味はないが、車には興味があった。ある年齢の方はご存じかもしれないが、子供のころにスーパーカーブームがあった。確か小学校6年生の時、親にせがんで実家から100km程離れた山形市で開催されていたスーパーカーの展示会へ行ったことがあった。イタリアのフェラーリと日産フェアレディZが全く別物であるこ

結論。大きくて重たい車のタイヤ交換はカッコつけないで専門家にお願いたほうがいいです。しつかりナットを締めたりもりでも不十分な事があります。自分でやるなら少なくともトルクレンチを用意して締め具合を確認しましょうね。

ともよく知らなかったが、とにかく普段目にする形と全く違う車を目にしてとても興奮したことは覚えている。その当時、あるドイツ車はベンベと呼ばれ、子供同士の会話でもベンベと言っていた。それがその会社の頭文字BMWのドイツ語読みと知ったのはかなり後だった。

次にその車を意識したのは仙

台の予備校へ通った時だ。東北一の街であり、車の種類も当然多かったため、地元では目にする機会がない車に出会うこともあった。ある時、ふと交差点で白い心惹かれるデザインの車を目にした。大きな2つのフロントグリルが特徴的だった。その形状が「そら豆型の腎臓」のような形に見えることから海外ではキドニーグリルと呼ばれ、その独特の大きな形状から豚鼻と揶揄されることもあるが、個人的にはとても気に入った。いつかはクラウンという有名なCMのセリフがあるが、いつかはこの車ベンベに乗りたいたいとその時から思った。

仙台での1浪後に、秋田大学の医学部に入學した。1年生では原付バイクで通学していたが、2年生からは晴れて車を所有することになった。当然のごとく親に買ってもらった車は国産大衆車の中古車であったが、いつでも好きなどころへ行け、助手席に人を乗せて好きな音楽を聴いたりできることはこの上

もない喜びであった。今では無くなってしまった車種だが、学生時代にハイソカーと呼ばれた国産高級車を新車で購入できる同級生がいて、うらやましかつたことを思い出す。

その後、研修医を経て初めて赴任した先は地方の病院であり、周りに全く浪費する場所や欲しい物もなかったためお金を貯めることができた。初めて自分で車を購入する機会ができた。リサーチした結果で、国産車の大型スポーツカー2台とキドニーグリルのドイツ車の3種類に絞った。国産の候補車はエンジンが大きくてスピードも速い。対するドイツ車は日本車と比べエンジンや車体が小さい割に値段は同じく高かった。迷ったので友人たちに意見を聞くと、外国車には乗ったことがないので是非ドイツ車を購入してみろとのことであった。初めて買う車がドイツ車になってしまった、それも憧れのベンベである。その時の営業の方とは今でもお付き合いが続いてお



り、30年以上の長きになった。その間何台か乗り継いだ車も全てこのメーカーとなった。

このメーカーに“fun to drive”というキャッチフレーズがある。運転しているとにかく楽しくなるので、この車で買い物に行くときと自分でも少しだけ遠回りしたくなる。だから毎日の男鹿みなど市民病院への長い通勤時間も楽しいので気にならない。いい出会いだったと思う。



真山や寒風山あたりを眺めながら今日もベンベは快走する（男鹿半島）

## 車の遍歴

### 「エピソード・ゼロ」



男鹿みなど市民病院（男鹿市）

秋元 正年

ちょうど30年前の2月下旬に栃木県の大学へ入学が決まった。「大学の周りは車がないと不便そう」との両親の意見で秋田の実家から15km離れた教習所へ通い始めた。その年の4月から学科教習で心肺蘇生処置、実

地教習で高速道路路運転が組まれることが決まっていた。教習所としては仮免がとれている人に優先して本免をとらせる方針だったようだ。入校したての自分は、学科教習は早めにこなせたが、実地教習は思うように時

間がとれず、結局3月の最終週で仮免を取るのがやっとだった。学校の職員に「仮免を大学の近くの教習所へ持って行き、6ヵ月以内に残った教習を受け、本免をとるように」と告げられ、送り出された。

そして4月から栃木。6年間を過ごす学生寮に入ると、面識のない先輩が私の荷物を持って部屋へ案内してくれて「夕方、飯食いに連れて行くから玄関へ集合だ」という。ある部活の勧誘活動だったのである。付近の食堂の名物ホルモン定食に釣られた新入生は自分を含め20人くらいいたと思う。送迎の際に先輩は「うちの部活は本免を取りに行くための時間を確保してやる。俺もそれがメリットで入ったんだ」と言った。この時点で学生時代しかなできないものを何かやりたい気持ちがあつたうえに、本免を取る当てがつくのは悪くない、と思った。

程なく入学式が過ぎ、授業も始まった。学生寮から通えること、同級生とあまり顔を合わせ

なくて済むこと、このどちらもなく満たす教習所を探すのに夢中で授業の内容はほとんど頭に入らない。やがて送迎バスを出している教習所を見つけ、ゴールデーンウィーク初日の土曜日から通い始めた。

宇都宮市南部にあった教習所は、自分以外のほぼ全員が栃木出身のU字工事さんのようなアクの強いイントネーション。私に來られた教習所側にもやはり異質なものを引き受けたような雰囲気があつた。それでも心肺蘇生処置、高速道路路運転などの新しい項目を含め教習をこなした。卒業検定の見込みがあつたある日、すでに本免を取っていた部活の仲間には「1学期お疲れ様の会」と称する深酒をしてしまい、翌日の卒業検定は不合格。夏休みとともに始まった部活の夏合宿の合間、気を取り直して2回目合格し、教習所の呪縛が解けた。

しかし、本免の試験は一発で通る自信がなかったため、夏合宿やお盆が過ぎてから受けるこ

とにした。学生寮から電車とバスを乗り継いで鹿沼市の免許センターにたどり着き、試験会場を尋ねたら外国人に間違われてしまった。7月下旬から盆直前まで屋外で過ごし真っ黒だった顔に、何を思ったか紫系のアロハシャツという出で立ちは格好いいわけがなかった。試験はめでたく合格できたものの、顔写真を撮るのに眼鏡を外すよう言われ、その格好のままカメラの前に立たされた。指名手配犯まがいのその写真が3年間の相棒となった。



八橋の桜と竿灯会 (秋田市)

今回は車のお題でしたが、私の日々の悩みの種となっている娘の音楽活動について書かせていただきます。

我が家の長女は、秋田と東京の先生の2人からヴァイオリンを習っています。2022年に県のコンクールで受賞したことを契機に、23年9月にミルハス小ホールで初めてのソロコンサートをを行いました。娘が当時小6ということ、受賞歴が1つしかないこと、秋田では小学生のソロコンサートの前例がないことなどから周囲の反対の声もあり、開催を悩みましたが、東京の先生の応援と本人のやる気を尊重して開催することにしました。

門外漢でただの一個人ではない私にとって、主催者となることはストレスフルな仕事でし



## 自主コンサートの経験

小玉医院(潟上市)

田村千夏

た。まずは、娘を連れて多くの会場を回って試奏し、会場決めから始めました。イベント会社にも相談しましたが、小学生の発表会として相手にされず、最初は断られるたびに落ち込んでいました。しかし、会場の予約や予算決め、プログラム作成、ピアノ、ステージの演奏位置決めなど仕事に追われ、次第に気にならなくなりました。その他、伴奏者、共演者の依頼、出演者との合わせの日程調整、楽譜準備や曲目解説の原稿、台本作成など裏方の仕事は多く、迷走しつつもなんとか進めました。

裏方で一番困ったのが、音響・照明の仕事です。ホール付きの専門スタッフを頼むのは高額でしたので、自分1人で同時並行するつもりでした。ネット

動画などで勉強していたところ、運よく、娘の同級生が司会をしてくれることとなり、また、その子のお母様が、知り合いの音響・照明の専門のスタッフを紹介してくれました。チラシやパンフレット、チケット作成、ビデオ撮影やDVDの編集作業は夫が担当してくれたため、結果的に出費も抑えられました。観客も関係者が多く、温かく見守ってくださり、こどもたち主体の楽しい演奏会となりました。

裏方の仕事は、やりながら考えることが多く、やってみて初めてわかることばかりでした。先生方やスタッフも無知な主催



いつかはミルハスで… (小山実稚恵リハ用ピアノ・ミルハスの楽屋)

者相手にイライラされたと思います。今振り返ってみても、反省点が多いですが、華やかな演奏の陰には、多くの人の支えがあることなどに気づき、今までとは別の見方ができるようななったのは、一つの成長かなと感じます。自主コンサートやイベントなどをやってみたいな、と思う方はぜひ挑戦してみてください。

そして、今年度も娘の希望で8月にコンサートを開催することになりました。今回は東京の先

生が2人共演してくださることとなり、うれしい反面、さらなる責任を感じていますが、協力してくれるイベント会社もあり、初めての主催よりはいくらか気が楽です。当日は自分自身も演奏会を楽しめることを目標に裏方に徹したいと思っています。

8月12日(月・祝) 第2回 Violin mini concert、会場はアトリオン音楽ホール、14時開演です。ご興味のある方はぜひ足を運んでいただけましたら幸いです。(チケット必要です)



## 家族と車

湖東厚生病院(八郎潟町)

伊藤善昭

こんにちは。湖東厚生病院の伊藤善昭です。「車の話」というテーマで依頼を頂き、執筆させていただきます。とはいえ車選びには大きなこだわりがな

もシエンタに乗っているような状態ですので、車に関するおもしろい情報提供はできませんのでご容赦を。

最近ではコロナの影響で電車や飛行機を使った遠くへの旅行は行きにくい状況のため、シエンタに乗って近場の旅に。たまには親孝行をと考え、両親も連れて山形に車旅へ向かいました。気になったところがあればふらっと寄れるのは車旅の良いところ、当初の予定になかったソフトクリーム屋さんは立ち寄って大正解！ 一方で車旅の残念なところは自分だけワインの試飲ができなかったことですね：とはいえ天気にも恵まれ(周りが試飲後、気持ちよく眠ってしまい一人)運転していても気持ちが良い大満足の旅行になりました。

さて今回の旅行ですと助手席に座って交差点の度に「オーライ」と声を出していた父ですが、地元にある車の部品工場に勤務しておりました。父の着ていた青と白の工場着とそれに

染みついていた油のにおいは、ぱつと思いが出ることができ子供頃の一番初めの車関連の記憶かと思えます。会社の運動会や釣り大会にひつついて行ったり、夜勤のときは弁当を届けに夜の工場に行ったり。また地元の仕事であることから社会科見学で何う機会もあり、父の姿を見つけて少し恥ずかしいようなそれでいてなぜか少し誇らしいような気持ちになったものです。仕事の内容は全くと言っていいほど理解していませんでしたが、子供ながらに父の働く姿にはあこがれるものがあり、卒園文集などみると医師になりましたと言いつつ始めるまでは車関連の仕事に就きたいと思っていたようです。そのわりに今は全くこだわりがないというのも、なかなか不思議なものです。

家族と車という、亡くなった祖父と軽トラも思い出されます。車に特別な思いがあるというわけではありませんが、部活の応援に来てくれていた祖父の姿は軽トラとセットで、なに



かと迎えに来てくれた祖父は雪の日でも軽トラの横に立って待っていてくれて「中で待ってもわかるよ、寒いし」と何度言っても「んだが」といつて結局また外で立って待っている祖父でした。無口なタイプで頑固なところもあった祖父でしたが、根は優しく心配性なところが軽トラ横で待つ姿によく表れていて、今でもふと思いつることがあります。

あつという間にこの字数になつてしまいました。最後にも



八郎湯町の水仙

う一つだけ。東日本大震災の際、見ず知らずの私を仙台から車で実家まで送ってくれた方々がいました。これも一つ車の話



## 「車」のペシミズム

藤原記念病院（湯上市）

三浦一樹

かと思ひ、連絡先もわからないため、この場で改めて感謝の気持ちを記し締めたいと思います。稚拙な文章失礼しました。

先日、お彼岸の後片付けのために秋田から大曲方面に田舎道を車で通った時、道端にお年を召したご婦人が独り佇んでいるのを見かけた。テレビのレポーターよろしく「第一村人発見」などとはしゃいでいたら、妻が突然ぼつりと一言「今は、田舎なほど、車がなければ生活できないよね」と。

前の東京オリンピックの頃、生活に絶対必要というのではないが欲しいものの上位に「カー、クーラー、カラーテレビ」という3Cがあった。わざわざ「自

家用」と書かれた車もみかけていた。景気の大きな浮き沈みはあったものの、この三種はほとんどのお宅に備わり、車は一家に2台というのも今は珍しくない。幹線道路には車があふれ渋滞しているのに、地域とか田舎とか呼ばれる所には、逆に人影は少なく子供も見かけず閑散としたもの寂しい。横光利一の「」

特急列車は：全速力で駆け抜けた。沿線の小駅は石のやうに黙殺された。」を久々に思い出していた。ここでの住民、家屋、生活は道端の石の如くに車社会

から「黙殺」されているのかもしれない。なにしろ現代の3Cといえは、かつてあふれかえっていたが今はほとんど見かけない Children、Community、Change（子供たち・地域社会・変化）の後向きCなのだ。なにもすべてが車社会、自動車産業のせいではないのだが、効率よくカッコいい車を量産し、言葉巧みに車を売るといふフォーディズム（フォードの生産手法・経営思想）以来のコンセプトがイケイケ、ソコノケの資本主義経済を牽引し、タガが外れたような新自由主義の名のもとで金融経済を暴進させたが行き詰っているのが現在のだろう。自分勝手に世界をから回りさせる「車」。

どうやら私は「自動車」が嫌いのようだ。運転がへたくそなせいもある。特にバック。ちよつと突っ込んでみる（事故ではありませぬ）。なんで「自動」車なの？ 霊体でもあるまいし、「みずから」や「おのずから」動くのではない。駆動のエネルギーがあつての車の動き

のはずだ。かつてその駆動力源は長く、牛や馬、人と「生物（いきもの）」であった。いつのまにか「古生物」由来エネルギーが主になり、さらには水力、風力、太陽光、地熱、放射能と国土を汚しつつエネルギー変換した電力・蓄電力が駆動する車に様変わりしつつある。

音も静かで性能もよい車は、車3台でも轟音とは無縁の存在

となった。しかし見渡せば、昔は農家の各家々に飼われていた牛や馬はどこにもいない。馬糞をポタポタ落としつつ荷馬車を引いていたあのけなげな馬たちもまた、駆動力単位に「馬力」という言葉を残してもどこにもいない。不要になれば潰されるのが家畜の定めか。牛は、乳牛、肉牛のみで、馬は競走馬だけが命をつないでいる。

AI主導で責任の引継ぎのないう下請けピラミッド構造での車生産過程や車社会ではヒトも「社畜」で使い捨てられるのか。運転すらもAI任せで「人任せ」でもなくなりつつある。なにか空恐ろしい世界が待ち受けているようにも感じられる。行く末は霊場恐山のからから回る赤い風「車」か？



田んぼアートの田植え  
(塞ノ神公園・八郎潟町)

## 救急車に乗った話

〜霊柩車の前に…

ハートインクリニック（潟上市）

佐々木 康 雄



4月末夕刻の角館横町通り。昨夜半の嵐で桜は散っていた。

「客だったら座んな」―。60がらみの山羊髭占い師が私をジロリねめ回して椅子を指さす。腰かけた私が「車のことで」と口を開くと「前の車と今の車をい

えば次にあんたが乗る車を当てよう」と占い師。「気に入っていたのはマツダロータリーRX7、今はレクサスGS」というと彼は「次は霊柩車だね」と即答した。「いきなり霊柩車かい？」「失敬。その前に救急車だ」店じまいする彼に千円札を出すと半額でいいという。「医

者と占いは値切らないことにしている。運転には気をつけるよ」と手を振って私は赤提灯へ向かった。

35年前、平成元年のある日、角館病院精神科の科長命令で私は看護師2名と西木村の奥地へ救急車を伴って往診した。食べ物に毒を盛られたと役場や警察へ頻繁に電話をよこす妄想の独居老女が目的である。玄関で挨拶した看護師は警戒する老女を言いくるめて血圧を測り「高いわ。あたったら大変。注射だんすな」と麻酔薬を打つ。眠った

ところを救急車に収容し私が同乗する。隊員は「血圧、脈、異常なし！」と点呼した。

翌年、私は市立大曲病院へ異動となる。ある日院長から「神宮寺に不穏状態の男性がいる。うちは満床だから秋田の市立病院へ運んで下さい」と指示された。看護師と救急車に同乗して往診、角館と同じ手口で男を眠らせ搬送した。ところが帰りの救急車はサイレンを鳴らさず信号も守るのろろの運転である。正午だった。ラーメン屋に寄ろうと提案したら「この格好で入



れます?」と隊員に叱られた。

パリでも救急車に同乗したことがある。同じ安宿に住む日本人が腹痛を訴え私は宿の管理人の勧めで隣のカフェへ行った。するとカフェの親父は小型のポンコツ車を出して乗れという。パリの「民間救急車」である。病院玄関で軽く診察した医師は親父に何事かを告げ救急車は去った。すぐ別の救急車が現れ酔っ払いがふらふら下りてきた。医師がまた運転手に何か告げると酔っ払いが怒りだす。聞けばわが友は医師が救急車必要と認めて無料、酩酊男は不要の判断でタクシー料金を請求されたのだ。45年前のフランスでは救急車が原則有料だった。

一方、私は自ら救急車で搬送された経験を3回持つ。初回は学生時代に車の助手席で橋の欄干に激突後。救急隊に自治医大へと頼んだらエリアが違うと断られたが搬送してくれた。



心不全、肺水腫で酸素療養中のジョン君(左)を見守る妹チコ

が、こんな夜中に何事だと整形外科講師に大目玉をくらう。2回目は道路横断中爆走車にはねられ全身打撲と右手首骨折。この時は警官の執拗な事情聴取で救急車が出発できず居合わせた皆が怒り出した。3回目は吐血。日本で最初に心肺蘇生を試み違法だと批判された秋田の救急隊だけあって手際が良かった。

古い師の予言はまだ的中していない。だが心房細動で先日受診した千葉裕一先生は「運が悪ければ血栓が飛んで脳梗塞か心筋梗塞」と葉を下さり、運が良ければポックリとまではいかなかったが、できれば霊柩車の前には私は救急車に乗りたい。

## 理事会

4月16日(火) 午後7時  
「ブルーメッセ昭和」

秋田県中央地区医学講座。当医師会主催により10月12日土曜午後3時と決定した。講師陣と会場は次号に掲載。

全国各地で看護学校の入学生員割れと経営難が問題化している。由利本荘など秋田県内も例外ではなく、他県では既に閉校したケースもあり、看護師不足に拍車がかかる恐れあり。

県から秋田県在宅医療推進センターへの各種依頼。地域包括ケアシステム、在宅医療提供体制、介護分野との多職種連携等を目的にセンターを設置し、各郡市医師会の協力を求めたい。契約書や申請書、報告書など書類の山が待つ。

災害医療コーディネーター

ター。各郡市医師会からの登録会員を増やせないかと打診あり。災害発生時には自分の職場が忙しくなると予想され中央保健所での待機は困難という意見。当該地域と地理に詳しい医師が理想とされ、通信障害、情報収集と伝達、道路や医療機関の状況把握など克服すべき課題多数。

次回理事会は5月30日木曜、役員選挙を伴う総会は6月8日土曜午後3時と決定。

藤原慶正会員が日医常任理事に推薦され立候補することになった。悩むところもあったがこれも天命と信じ込んで参りたいと挨拶。全員拍手で応えた。

# 会長レター

29

## こんなこともあります

佐々木医院（潟上市）

佐々木 範明



2代目の自家用車以降、国産車が嫌いです。理由はモデルチェンジが早すぎるからです。お気に入りでも乗り続けても「前のモデルですね」と言われてしまうし下取りは下がるし…。ずっとドイツ車に乗っています。

さてそのドイツ車は大体がシートが堅い。長時間アウトバーンを走っても疲れない堅さという事になっているが、今年になってなんだか堅さを今まで以上に感じるようになった。「お尻のお肉が運動不足で細くなったんだな」と思いつつお尻に手を遣ると、何か「コリっ」って触れる。あれっと思いきじつくり触診。筋肉が痩せて坐骨結節が触れるのではなく、明らかに腫瘤（しこり）がある。悩んで

いても仕方ないので、時間を工面してX病院でMRIを撮ってもらう。約3cmの嚢胞性腫瘍があった。整形外科A先生に診察を受け、「局所麻酔で行けそう（切除できそう）ですね」ということで、Y病院のB先生へ紹介となった。B先生からも「これは邪魔でしょうから摘出しましょう」ということで、約1カ月後に手術予約をした。

いつもは手術を請け負う側なので複雑な気分、時々しこりを触っては「切開はこの方向かな」「皮下縫合もするのかな」「トイレで座るのも2、3日は痛いかな」など考えていた。手術が近づいてきたある日、手術創のガーゼ絆創膏を剥がすとき痛いのでお尻周りの剃毛をしようと

考え、お風呂でジョリジョリ。剃り終わって触ってみると、しこりがなんだか小さくなっていくのに気づいた。手術が嫌で小さくなったような感じがしているだけなのかな…。それから毎日いろんなポーズで触ってみたがやはり小さくなっていく。「どうしよう、B先生に連絡した方がいいだろうか」「でもなく、手術が怖くなって小さくなったなんて言ってるって思われても嫌だし」などと考えているうちに手術日。

外来待合室から手術室へ案内され、全部脱いで手術着に着替えて入室。手術ベッドに横になり、心電図の電極を付けられ、左腕に点滴。若いC先生が来て「手術担当します」と挨拶をいただき、手術部位の確認。「あれ？ うくん…？」と言ってMRIを確認。「この辺りですよね？」と言って再度確認。そこにB先生も入室して触診。「この前より明らかに小さくなってますよね！」という事で、超音波エコーを施行。エコーで診て

も描出が難しいくらい縮小していた。どうやら血腫だった（らしい）。暫しの沈黙…。「（手術）中止しましょうか」とB先生。私もその選択に異議は無く、点滴を抜き、電極を剥がして退室となった。

会計が終わって外に出ると快晴。その日は休診にしていたので1日得したような気分だったが、Y病院の皆さんには本当にご迷惑をお掛けしました。こんなこともあります。

さて、ウチのケンシンもこの冬に太ってしまいました。食事とおやつを2割減らして散歩の距離を2割増やし、桜の元木山の坂道上がって飼い主もフー。お尻の筋肉を鍛えねば。



ケンシンと

# 生涯教育講座

## 「糖尿病性神経障害診療の問題点」



秋田赤十字病院 第一代謝内科

部長 後藤 尚 先生

日時 ▼令和6年3月21日

場所 ▼ZOOMを介したオンライン講演会

糖尿病治療の最終的な目標は、糖尿病のない人と変わらない寿命とQOLである。そのためには合併症の発生・進展を阻止することが大事である。そんな中で本日は神経障害に焦点を当ててお話ししたい。

糖尿病の合併症が出現する時期は、神経症、網膜症、腎症の順で現れてくる。したがって糖尿病性神経障害は、最も早期から現れ、最も多い合併症であ

り、最も長期に存在する合併症である。実臨床で、ある時点での糖尿病性神経障害の罹患率はそれほど多い印象はないと思われるが、患者さんの生涯を考えた場合、生涯罹患率は50%を超えて、そのうち25〜30%が神経障害性疼痛を経験すると言われている。糖尿病性神経障害性疼痛は、腰痛に次いで高頻度な疼痛である。

神経障害性疼痛では、睡眠障

害やQOLの低下、ポリファーマシーの原因、社会経済的悪影響（医療費増加、労働やADLの低下）を惹起する。ただし、糖尿病性神経障害性疼痛が数年以上続くことは減多になく、その持続期間は1〜5年が最多である。糖尿病性神経障害自体は男性に多いが、有痛性糖尿病性神経障害は女性に多いことが知られている。また、神経障害性疼痛を有する者は無い者に比べ生存率が低い。

糖尿病性神経障害を考える会で提唱している糖尿病性多発神経障害の簡易診断基準として、必須項目で、糖尿病が存在すること、糖尿病性多発神経障害以外の末梢神経障害を否定しうるものが挙げられ、条件項目として糖尿病性多発神経障害に基づくと思われる自覚症状があり、両側アキレス腱反射の低下あるいは消失を認め、両側内踝振動覚低下を認められることが挙げられている。しかし、糖尿病性多発神経障害以外の末梢神経障害を鑑別するのは必ずしも容易

ではない。

糖尿病性神経障害というくらいなので血糖が高ければ神経障害は起こりやすいが、IGT（耐糖能異常）例でも糖尿病性神経障害を発症し得ることが知られており、血糖だけではなく血管危険因子である中性脂肪、血圧、肥満も神経障害に影響しているだろうと考えられている。

末梢神経障害の診断では、病歴としては、長期罹病、高齢、代謝症候群、肥満、脂質異常、高身長、頰回転倒などが挙げられる。症状としては夜間増悪の疼痛、大径線維障害（しびれ、身体バランス不良、脱力）が挙



千秋公園の春（秋田市）



げられ、診断としては小径線維障害（ピンプリック、温覚）、大径線維障害（振動覚、識別性触感、アキレス腱反射）が挙げられる。以上の末梢神経障害の分布は、糖尿病性末梢神経障害では末梢優位で対称性である。

糖尿病性末梢神経障害性疼痛の治療には、薬物療法として抗うつ薬、ガバペンチノイドがあり、そのほかに局所へのカプサイシン塗布、身体療法としての脊髄刺激療法、欠乏するビタミンの補充、運動療法として全身

振動療法、悪影響のある遊離脂肪酸を減らした食事療法などがあるが、薬物療法より効果は劣る。疼痛へのガバペンチノイドの効果には用量依存性がある。抗うつ薬であるSNRIとの併用効果の優位性は示されない。

ガバペンチノイドの薬物間での効果の差はあるようである。



吉田賢志記者

## 「喘息のトリプル治療」



秋田厚生医療センター 呼吸器内科

診療部長 福井 伸 先生

日時▼令和6年4月18日

場所▼ブルーメッセあきた

喘息予防管理ガイドライン2021（JGL）では喘息の管理目標が明確に示されていて大きな柱が二つある。一つ目は症状のコントロールで、しっかりとコントロールするためには気道炎症を制御し、呼吸機能をよく保つことが目標とされている。二本目の柱としては将来のリスク回避である。究極の目標

は喘息死を回避することだが、一番は急性増悪（喘息発作）の予防に加えて、呼吸機能の経年変化を抑制して管理していこうということである。重症喘息でコントロールの悪い患者は、入院を要する増悪や屯用の内服ステロイドを必要とする頻度が多く、医療コストの負担も大きい。また、喘息の患



総司会・千葉裕一委員

者に対する全身性ステロイドの投与は様々なリスクがあることが多く報告されている。

喘息の病態の本体は気道の炎症であるが、気道の炎症の詳細なメカニズムが明らかになってきて生物学的製剤（バイオ製剤）の開発が進んできた。バイオ製剤を早期に導入することで完全寛解を目指せるのではないかとという期待があり、近年、臨床的寛解を考慮しようという機運が

高まってきた。

2020年に提唱された臨床的寛解の定義を踏まえて、喘息診療実践ガイドライン2023（PGAM）で臨床的寛解の基準が日本で初めて具体的に示された。喘息コントロールテスト（ACT）が1年間を通し23点以上、増悪が1年間ないこと、経口ステロイドの使用が1年間ないことの3つがそろって臨床的寛解と定義した。

トリプル治療（吸入ステロイド薬ICS／長時間作用性 $\beta_2$ 刺激薬LABA／長時間作用性抗コリン薬LAMA）でも症状が落ち着かない場合は、バイオ導入も視野に入れて専門医へご紹介頂きたい。



桜のトンネル（潟上市元木山公園）

それではいつトリプルにすればよいのか。複数デバイスからの切り替え、ICS/LABAからのステップアップ、最初からトリプル使用の3つのパターンが考えられる。複数デバイスからの切り替えでアドヒアランスの向上が期待できる。ICS/LABAからのステップアップでLAMAを加えると速やかに気流制限が改善し、効果を実感出来て満足度が上がり、長期的にアドヒアランスが良くなると考えられる。

うのは治療ステップ3（毎日症状がある、睡眠が妨げられる、夜間症状が週1回以上ある）以上とされている。PGAMでは、咳、痰、呼吸困難のいずれかが強い場合は、トリプルから行ってよいと記載されている。JGLの治療ステップ2からトリプルを考慮してもよいのではないかと、さらに初診時こそトリプルの適応があるのではないかと考えている。そして後からステップダウンでも良いかなと思っている。

喘息の患者はクリニックにかかっている方がとても多く、かかりつけ医の役割は大きい。しかしトリプル療法でもコントロール不十分の場合、経口ステロイド薬が必要となるような増悪が年2回以上ある場合、急性増悪時にサチュレーションが低い場合は、専門医への紹介の良いタイミングである。また、自施設で呼吸機能検査やNO測定が出来ない場合は、定期検査の一環として専門医と連携することを勧めたい。



半ダースまでもうひと踏ん張り！

この度、男鹿潟上南秋医師会に入会させていただきました。越川静和です。秋田市下北手で育ち、秋田高校、秋田大学と進学しました。大学卒業後、宮城県塩釜市の総合病院で初期研修を行い、その後新潟大学病院整

形外科医局に入局。新潟市の総合病院勤務後、新潟県長岡市で6年半過ごしました。長岡時代には人工膝関節置換術を多く執刀させていただいておりました。

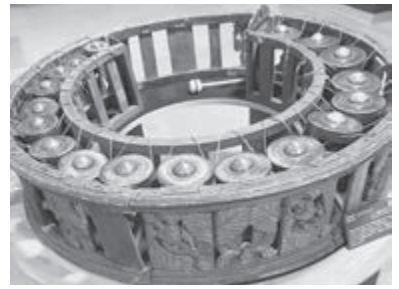
長男、次男、長女3人を育てながらの勤務は、毎日がそれはそれはドラマチックでした（笑）。長岡市に家を建てようと検討している際に診療所承継の話があり、秋田に家族とともに戻ることを決意。2020年3月に男鹿市脇本に引っ越してきました。自然に囲まれた環境で子育てをしたかった私の希望に寄り添ってくれた東京出身の夫には感謝しかありません。

男鹿に来てから5人家族から7人家族になりました。こどもたちは、小学校6年生の長男、

## 新入会員

走りたい、子を育てたい  
仕事もしたい

男鹿加藤診療所（男鹿市）  
越川 静和



タイの打楽器コンウオン  
18個のゴングのように家庭も賑わう  
(鷹巣・大太鼓の里)

小学校4年生の次男、小学校1年生の長女、年少さんの次女、1歳の三女です。個性にあふれた5人です。長男は体を動かすことと魚とお菓子が大好きです。将来は魚博士かパティシエかな。素直で優しいお兄ちゃん、次女と三女から絶大な信頼を集めています。長男が3歳になったばかりの次女をつれて電車とバスを乗り継いで御所野のイオンまで行くこともあるほどです。次男は、幼いころから綺麗なものやかわいいものに目がない子です。妖怪とジェットコースターが大好きです。妖怪博士になれるほど妖怪を知り、多くのジェットコースターの高

さと速さを暗記しているほどです。長女はとにかく頭の回転がはやいです。親に習うのは好まず、文字も数字も計算も自分で習得しました。本やテレビから驚くほどの情報を吸収しているようです。本に書いてた！テレビで言ってた！は日常茶飯事です。次女は5人のなかでひとりだけ天然パーマです。くりくりヘアの妖精のようです。とても小食で身軽で低燃費。最近ようやく風邪に負けなくなってきました。女優魂もあり、父親、祖父を泣き落とすのは朝飯前です。三女はさすが5人兄弟の末っ子。基本ご機嫌です。昨年4月、生後4か月のころから三女をおんぶしながら診療していたせいか、社交的です。歩けるようになってから診療所内をお散歩したり、シールを貼るお手伝いをしたりしています。時にスタンプまみれになっていたり…。最後に…わたしの趣味は、ものを作ることに走ることです。最近長女の入学のためのバッグ作りを楽しみました。働き始

## 新入会員



### 市民の健康寿命を 延ばしたい

男鹿みなと市民病院(男鹿市)  
柴田 暢のぶ介すけ

めてから長男出産まえまではハーフマラソンに出ています。去年のメロンマラソンからマラソンを再開し長女とペアマラソンに出場。今年も出場予定です。

そんな私を支えてくれる、診療所スタッフ、家族に感謝しながら日々過ごしております。診療所に来てくださった方々に安心してもらえよう、誠実に診療して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

男鹿みなと市民病院の整形外科医、柴田暢介です。娘が小学校に入学した年に赴任し、今年で中学生になるため、男鹿に来てから早7年目になります。上司の今野先生とともに日々診療に勤しんでいます。今回ご縁をいただきました。どうぞよろしくお願申し上げます。

出身は神奈川県大和市です。大和市は東京都町田市と横浜市に隣接する小さな市です。その後、神奈川県立川和高等学校を卒業し、秋田大学医学部に進学しました。卒業後は秋田大学整形外科に入局し、いくつかの関連病院を経て現在に至ります。子供は長男と長女の二人で、年子なので小さい時は子育てが大変で、妻にはかなりの負担をかけましたが、振り返れば大変な時期をまとめて終わらせられて良かったかな、と話しています。



趣味は、整形外科医らしく（？）体を動かすことです。特に筋トレは、短時間ではありませんが毎朝取り組むようにしています。学生時代はラグビー部に所属しており、以前は100キロ近いバーベルや数十キロのダンベルを使ってハードにトレーニングしていましたが、数年前に肩や膝、腰など全身に痛みが出てきたため、最近では自重トレーニングに切り替えました。工夫すれば自分の身一つとぶら下がる場所さえあれば全身を鍛えることができます。一般的なウエイトトレーニングと違って、体の柔軟性やバランス感覚も身につくので、1年、2年と取り組むうちに徐々に体が柔らかくなって、その結果肩こりや腰痛にほとんど悩まなくなり、体調も良くなった気がします。筋トレに限らず、体を動かすことは心身を健康に保つには非常に効果的です。外来では患者さんにとって運動でもいいので運動習慣をつけてもらうようにお話しています。



こぶし（八郎湯町）

私は整形外科の中でも、足や足関節を専門として今まで勉強して参りました。よくある疾患としては外反母趾などがあり、手術も行っています。最近はそのれ以外にも股関節、特に人工股関節の手術にも力を入れていきます。この手術は変形性股関節症や股関節の骨折をした方に行うもので、術後の経過が安定しており、数多くある整形外科の手術の中でも患者さんの満足度が特に高い手術の一つです。整形外科は患者さんが元気に過ごす上で不可欠な運動器を専

## 新入会員



田村です。よろしく。

社会福祉法人敬仁会（湯上市）

田村 芳よし かず

門に扱う科です。医学の進歩により、脳卒中や癌などによって生活が制限される方は減少してきています。その結果、現在は骨折や変形性関節症などの整形外科疾患が寝たきりの原因としてもつとも多くなっています。寝たきりにならないように、いわゆる健康寿命を延ばすことが

重要視されている今、整形外科の需要はますます高まっています。高齢化が進む秋田県の中でも特に高齢化率が高い男鹿で、運動器の健康を支えて地域に貢献できるように今後も努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

● 生年月日 昭和31年8月8日

(67歳)

● 出身地 秋田県

● 出身高校 横手高等学校

● 出身大学 北海道大学

● 専門 循環器内科



先生方には、秋田厚生医療センター時代から一方ならぬお世話になっております。この4月から縁あって、社会福祉法人敬仁会に勤務することとなりました。今後は当地域の医療福祉サービス向上にいささかなりとも貢献できればと思っておりますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

**私のおすすめ** 

**心を軽くして  
みませんか**

-----

出戸診療所（湯上市）  
**萱場 恵**



4月、秋田にも桜の季節が巡ってきました。今年はまだですが、ここ数年、仕事帰りの夕暮れの中、遠回りをして、大潟村の菜の花ロードを走り抜けて春を満喫しています。

4月は、進学、就職、異動などで生活が一変してしまう方もおられます。新生活にときめきと野望を抱いている方がいる一方で、初めての一人暮らしでホームシックになったり、子供の巣立ちに空の巣症候群に陥ってしまったりと精神的に追い詰



められる方もおられます。

若い方であっても環境に適応できないことがあります。年齢とともに立ち直るのに時間がかかります。どのようなころもちでいたらいののでしょうか。そんな時、心が軽くなる最近読んだ2冊の本をご紹介します。

『ほどこよく忘れて生きていく』は漢方心療内科医の藤井秀子さんが執筆された本です。藤井さんは今年93歳になられる現役の医師です。7人のお子さんの母親でもあります。人間関係はほとんどよく忘れる。みんな仲良くは無理。比べるは忘れる。「私さえ我慢すれば」を忘れる。よかつた過去もほどこよく忘れる。悔やむ心を忘れる。そして、やりたいことだけをやる。できな

いことはお願いする。笑うことを忘れない。心はカラッと、人づきあいはサラッと、人生はさっぱりと。この本は心とからだを楽にする処方箋です。

『そつと無理して生きてみる』は3年前に鬼籍に入られた高橋幸枝さんの著書です。30歳を過ぎて医師となり、50歳で病院を開設。100歳を過ぎてなお現役でいらした方です。

92歳、98歳の2度、大腿骨骨折で入院を余儀なくされました。このとき「先生、無理をしないで下さいね」と言われていたとか。でも、少し無理をしないと歩くことができなくなると思い懸命のリハビリをして1ヵ月で退院して仕事に復帰されています。エレベーターのない3階に住まわれて、毎日51段の階段を上り下りして鍛えられた筋力が無理を支えたようです。悩んでいるだけでは物事は解決しない。生きている限り人生にタイムリミットはない。やり残したことがあったら始めるのは、一番若い「今」。何歳になつて



も新しい自分を始められる。老いていく自分を鼓舞して下さる言葉があふれています。

お二人に共通していることは、生活にルーティーンがあつて、張りがある。過去を引きずらず、チャレンジすることを躊躇しない。それでいて、謙虚で感謝の気持ちを持ち、患者さんにもスタッフにも寄り添っている。到底、まねのできることはありませんが、これからの自分の指針にしていきたいと思えました。殺伐とした人間関係も俯瞰してみることです。

自分に自信を持ってない方、心が疲弊している方、そういう方に寄り添いたいと思っている方にお薦めです。自分を大切に、笑いを忘れず、今を生きていきましょう。

# ワンポイント アドバイス ③7

おらほの先生から一言



## 糖尿病療養指導士とは？

### 質問

糖尿病患者の増加に伴い自治体でも糖尿病療養指導を開始しています。貴院では「糖尿病療養指導士」が活動していると広報誌にありました。どんな内容なのか教えてください。

### ご指南役

藤原記念病院（潟上市）  
糖尿病療養指導士

伊藤奈瑠美さん  
小林さやかさん



伊藤さん↑

小林さん↑

まずは当院広報誌『なつめ』をご覧いただきありがとうございます。

現在、日本人の6人に1人が糖尿病もしくは予備軍であると言われていています。秋田県も2015年の「人口動態統計月報年報」では人口10万人に対し糖尿病による死亡率は全国ワースト3位で16・3人でした。

糖尿病は自覚症状がないまま進行する病気です。のどが渇く、尿の回数が多い、疲れやすい等の症状が出てきた頃には既に重症化しています。さらに進行すると失明や命に関わる合併症を引き起こすことが多いた

め、別名サイレントキラーとも呼ばれています。未然に防ぐためには体重や血圧、血糖値のコントロールが重要で、生活習慣も見直さなければいけない場合が多いのです。しかし患者様やご家族は血糖値のコントロールがうまくいかず不安に感じながらも合併症の危険性を把握していない場合が多く、そのような皆さまをサポートするのが「糖尿病療養指導士」です。

合併症の予防や病気の進行を抑え、上手に糖尿病とともに暮らしていくためには正しい知識と日々の治療が不可欠です。そこに糖尿病に関する幅広い専門知識を持ちあわせ、生活指導の専門家である糖尿病療養指導士の大きな役割があります。

当院には現在、日本糖尿病療養指導士1名、秋田県糖尿病療養指導士5名が在籍し、日本糖尿病療養指導士を中心に、外来患者様やご家族に対して生活習慣の聞き取りを行い、生活改善のためにアドバイスをするなどの活動をしています。



ミツバツツジ（水心苑・秋田市）

糖尿病に関する全ての不安や疑問に関して医師とともに分かりやすく説明し、必要時には多職種間でカンファレンスを開きます。それを基に各分野の専門職が患者様・ご家族をサポートできるよう手配しています（例えば、インスリン注射や内服に関して薬剤師が説明する等）。

血糖値のコントロールがうまくいかない場合は教育入院もあり、外来と同様に生活習慣や療養生活に対する不安等の聞き取り、退院に向けての生活指導をします。食事療法についても栄養士が指導しています。また、糖尿病と言われたことがない患



様が他の病気で入院した際も検査データをみて判断し、医師に糖尿病外来受診を相談・打診することもあります。

今後さらに糖尿病患者様が全国から男鹿潟上南秋地域まで増加していくと予想されます。患者様の生活の質を維持出来るよう医療者も日々知識を増やしていかねばなりません。そのため、糖尿病に関する知識がある私たちが他の医療者向けに研修会を企画したり、個別性を生かした患者様向けパンフレットを作成したり更なる活動が必要と考えています。患者様一人ひとりが治療を継続できるように関わって参りますので、受診の際は気軽に相談してください。



願人踊 (がんになおどり)  
5月5日 八郎潟町

## ゆるせぬものをゆるす心 ―二つの新聞記事より―

男鹿みなと市民病院 (男鹿市)

関 啓 二



人は、自分が大切にしているものや愛するものを暴力で奪われれば嘆き悲しみます。そして、奪った相手への憎悪や復讐心が芽生えます。しかし、普通ならゆるせるはずがないものをゆるす崇高な心もこの世に存在することを、私は2つの新聞記事から知りました。以下にその記事をご紹介します。

①2023年8月11日朝日新聞

朝刊「妻子を殺されても選んだ赦し 戦犯解放した比大統

領」

太平洋戦争の激戦地フィリピンでは、フィリピン国民11万人が戦争の犠牲になりました。戦後、日本軍による民間人の虐殺や性暴力に対して裁判が行われ、137人が有罪となりました。

た。半数以上が死刑判決でした。

エルビデオ・キリノ氏 (1948〜1953フィリピン大統領) は、妻と次男、長女、三女を日本兵によって惨殺されました。戦後当初、キリノ氏は日本に対して厳しい態度であつたそうです。しかし1953年、キリノ氏は声明を出しました。「私は妻と3人の子を殺されたものとして日本人を恩赦する最後の一人となるだろう。私は自分の子孫や国民に我々の友となる日本人への憎悪の念を残さないために、この措置を講じるのだ」 こうして、死刑判決を受けたもと兵士たちも恩赦を受けて日本に帰国しました。

キリノ氏がこうした赦しの心を持ったのは、氏がクリスチャンであることと深く関わって

るのは間違いないと思います。戦後の外交関係への配慮もあつたともいわれていますが、政治的な配慮のみでこのような赦しができるのはとても思えません。私はこの記事を読み、涙を抑えることができませんでした。この記事を読み終えた時、ふと私の妻が切り抜きで取つておいた記事を思い出しました。それは、

②2019年8月3日朝日新聞

朝刊「許せるものですか？」  
松本サリン事件被害者 河野義行さんインタビュー記事

1994年、オウム真理教による松本サリン事件が勃発しました。河野さん自身は猛毒のサリンガスで死の恐怖を味わいました。河野さんの妻は、脳にダメージを受けて意識が戻らないまま14年後に亡くなりました。しかも、河野さんは警察やマスコミから犯人扱いされたため、社会全体からバッシングを受けました。それは、1995年に地下鉄サリン事件が起こってオ

ウム真理教に注目が集まるまで続きました。にもかかわらず、河野さんはオウム、マスコミや世間を恨むことはけつしてありませんでした。

河野さんには特定の宗教信仰はないそうです。では何故許せたのでしょうか？ 河野さんはこう語っています。「恨むということは途方もない精神的エネルギーを要し、しかも何もいいことがない。損得の問題だ」

理詰めでこのような心が持てるならば、驚き以外の何物でもありません。他に何か、私の理解しえないことが隠されている

のか？

私のような心貧しき人間には到底無理かもしれませんが、二人が持つ崇高な「ゆるす心」に少しでも近づきたい。また、人々がこのような気持ちを少しでも持てるようになれば、憎しみの連鎖による戦争もなくなる日がくるのではないのでしょうか。



水芭蕉 (水心苑)



## 続・入院しました

杉山病院(潟上市)

肥田野 文夫

去年の今ごろ、悪徳(笑)小児科、精神科医から「治療終了なので(なのにな?)治療お願い

します」というわけのわからない強要状が大量に届き、その怒りで頭に血が昇って脳出血にな

り救急車で搬送というお話をしました。その時に「富士樹海の枯れ木みたいな眼底の血管(?)が視界に」とも書きました。その続きで、視力が7月頃から徐々に落ちて、0.6それから1ヵ月に0.1ずつ下がっていくので、理事長に聞いて(どこの病院が)まともかそうでないかをすべて知っているほど人脈がある)眼科受診しました。

今度こそ加齢黄斑変性で治療なし、そのうち失明、と覚悟しましたがやはり他科には素人で「違います。網膜に膜が張っていて治療は手術でそれを剝がします。難しいので秋田では大学の教授・助教授でないとうできません。紹介状書きます」となりました。

大学は30年ぶり、ローソンやスタバがあり、地下の食堂はなくなつて(いつの話だ)、立派なレストランが建ち時の流れを感じます。眼科は死ぬほど混んでいて、予約9時半、今日の予約人数190人の掲示にため息をつき、立錫の余地なく、

しようがないので隣の婦人科に：女性ばかりでした(おそろしく居心地が悪い)が、呼び出し器から「視力検査室」に呼ばれ、断層撮影、眼圧、眼底検査など終わり、先生の診察が12時過ぎ、その後、術前の採血、心電図と続きます。

午後は教授先生の診察があつて、眼科は何となく気さくな印象があつたのですが、入室した瞬間「あ、怖い」でした。まるで白い巨塔の財前先生みたいに(褒め言葉です)威厳というか圧倒的な存在感があつて「手術頑張りますよね!何か聞きたいことありますか?」に口数の多くない私が「はい」しか言えずでしたが、何十年忘れていた「安心」感覚を思い出しました。「怖そうで腕のいい先生」が「やさしくて出来の悪い先生」が、よりいいのは当たり前ですが、教育にしろ何にしろいつのまにか価値観が変わってしまいました。

1ヵ月後入院、術前日の朝に担当医の若い女医先生が7時半

(！)に回診。確か昨日は18時近くまで外来診察していたはずでこれは過労死ライン、将来(今でも)立派な先生になると確信しました。翌日朝、車椅子で手術室に到着、「痛ければ『痛い』と言ってください。我慢して動いてはいけません」といわれて、歯科医の麻酔と同じよう

な曲がった注射器で目の下に注射、途中で「麻酔追加準備」「水晶体固定」「レーザー準備」「ガス30cc」と指示が聞こえ、昨日の主治医先生が助手、手術着でテキパキと動いているらしい(見えないので)のがとてもかっこよく(らしい)て予定より早く30分あまりで終了、「うまく

いきました」の教授の声に「ありがとうございました！」で1年ぶりに医師への信頼がよみがえりました(世の中ひどい医者ばかりではありません)。

回復するかはわかりませんが今より悪化はしないので美人に見とれながら酒を飲む可能性がわずかながら復活です。ずっ

とモチ期が続いている友人の「先生は年だからもうあきらめなさい。一緒にキャバクラ行きましょう」に後輩(キャバクラでは大先輩)の指導を受けて3人で出かけるのが短い先の楽しみです。



## 愛犬「くー」の災難

あいざわ胃腸科クリニック(潟上市)

相澤 修

前号の会長レターに愛犬ケンシンくんが散歩中、大型犬に襲われ大怪我をしたという記事が載っていました。

我が家にもトイプードルの愛犬「くー」がいます。そして去年の秋、類似の事件が起きました。

妻が「くー」を連れ、公園で

散歩仲間数人と雑談をしながら、そこに1匹の柴犬が近づいて来て、突然「くー」のお腹に噛みついたのです。聞いた事もない鳴き声が響き渡り、血が飛び交い、そして助けに入った妻も足を噛まれ悲惨な状況になりました。すぐ犬猫病院に連れて行き、レントゲン検査、心

急処置をした後、腹部の深い裂傷に対し縫合手術が行われました(写真1)。傷が腹膜に及んでいなかったのは幸いでした。実はこの柴犬も散歩仲間でした。「くー」によくちよっかいを出すのです。大きさが違うので警戒していましたが、この日連れて来たのは事情に疎い旦那さんでした。助けが遅れていたらどうなっていたか、恐ろしい。しかし事件はこれで終わりました。

最初に撮ったレントゲン写真で胃内に小指頭大の異物を認めました。お腹の傷が治った頃、内視鏡で摘出することを勧めら

れ、妻は私には相談せずに予約をしてきたのです。しかも費用は25万円と聞きびっくりしました。柴犬にはさすがに請求出来ません。これを取り戻すには何件の内視鏡をやらなければなら



▶(写真1)

おなかの縫い方はかなり雑だなと思います。まだ嫁入り前なのに。







## 洪水から9ヵ月

大窪胃腸科内科医院（五城目町）  
大窪 天三幸

昨年7月15日の大雨・大洪水の支援、見舞いにつき、前回お礼を述べなかつた秋田県医師会、秋田大学医学部第一内科教室、藤原記念病院、元中通病院の三浦靖徳先生、白根医院の那須宏先生のお見舞い、それに八郎潟町の患者畠山蘭子さんのお手伝い、患者さんからの見舞いもあり感謝いたします。

しかしこの地区の公的支援は



朝市プラス  
（五城目町・5月12日）

かなり遅れております。議会の承認が必要とのことですが、被害が拡大された原因究明は不十分です。萩形ダムの放水、五城目町、八郎潟の水門閉鎖問題については噂だけ。五城目町の避難住民が300人も戻っていないと聞きました。人口減少に拍車をかけました。今年元日の能登半島地震による被害。この対策の遅れもさることながら、能登半島住民の住宅支援額が最大300万、当地区は最大60万と聞いております。この差は何でしょうか。時が過ぎ、あれは自然災害だったので得意の「ご理解下さい」ということでしょうかね。

裏金問題で自民党がことあるごとくに、謝罪と党改革を訴え、彼らが言う丁寧な説明をしていません。国会及び政治倫理審査会では自分は関与していない、知らない、忘れた、記憶にない、の繰り返しで真相は不明のままです。介護申請の主治医の意見書にある短期記憶ができないので、岸田総理は政権延命のため、実現不可能なりップサービスをし、最後は議員の処分ですが、どうごまかすか見ものです。

一方でデジタル化すれば政治家パーティの不明金問題はなくなるかと、生成AIで国会答弁がスムーズになるとか言っていますが、さすがに自民党、すでに官僚と手を組んでデジタル化や生成AIを今回の問題に悪用し、見事に自分たちに責任が来ないように生成しているようです。素晴らしい。岸田総理は心にもなく自分は死に物狂いで改革すると言います。この際、自らの手で自民党を解体し、全自民党議員が非公認で出馬することです。ふと気が付いたことで



馬場目川両岸に突如現れた菜の花群落は昨年7月洪水で運ばれてきた種によるアダ花か（大窪医院付近・五城目）

ですが、次期総裁候補として度胸はありませんが国民的人気のあつる石破、小泉、河野の新三馬鹿トリオにとって下剋上のまたとないチャンス到来です。きゃつらは何をしている。この時期を逃してはもう首相のチャンスはないでしょう。アホづらしていると高市、上川の女性議員にしてやられるぞ、がんばれ新三馬鹿トリオ！

次回選挙が始まれば株価暴落

騰、新NISAの成功、日銀の利上げ転向：すべて岸田政権のおかげとホラを吹くしかありません。アベノミクスで総痴呆化した国民よ、「今度はだまされ

るな」。驕れる自民党も久しぶり。難聴総理、日本自爆党バシイ。

最後に診療話を一つ。以前、馬鹿の一つ覚えで脂肪肝にユベ

ランと糖尿病治療薬ピオグリタゾン効果を上げましたが、効かない例もあります。洪水で来院しなかったアルコール性脂肪肝のウルソ中断例にウルソを再開

したら肝機能がよくなり、前処方低効果例にもウルソが効きました。患者さんから学ぶことは多いのです。医者としてはまだまだ未熟だと反省しました。

## 今日の診察室から 59



たむら船越  
クリニック  
(男鹿市)

田村 広美

「発熱外来の患者さんお願いします」診察室のカーテンの間から今日の診察介助当番のAさんが顔を出す。僕は診察室を出て、処置室の一部、HEPAフィルター付きのパーテーションと抗菌カーテンで区切られた一角に行く。送気側のパーテーションを背にゴーグル、手袋、

サージカルマスクの看護師Kさん、吸気側のパーテーションを背に椅子に座った患者さんがいる。僕は送気側のパーテーションから顔を出し、「こんにちは。今日は朝ご飯は食べましたか?」。鼻や喉に綿棒を突っ込むような検査の際は必ず手袋、ゴーグルをつける。

いわゆる新型コロナウイルス感染症は、感染症法上はインフルエンザと同じ扱いになり世間では歓送迎会やお花見も通常の感覚に戻ってきている気がする。でも医療機関では国からの「発熱患者と慢性疾患患者との接触を避けるべき」という指示がやっぱり強く意識されている。発熱患者の診療をしない、いや、できない医療機関もあり



ゼラニウム・プリティトルピンク  
(ブルーメッセ)

皆苦慮していると思う。うちのクリニックだって風邪症状のある患者さんと高血圧などの慢性疾患の患者さんは別々の部屋だし、熱のある患者さんは原則車で待つてもらおう。どうしても院内で過ごすことになるときは、風邪症状の方スペースのさらに奥、フィルター付きパーテーショ

ンで区切られた一角でできるだけ短時間で済ませる。院内にいる間は風邪症状の有無にかかわらず全員不織布マスクを着けてもらい、もちろん飲食は不可。

コロナ以前に比べると少し大げさな気がしないでもない。でも、こうした仕組みや患者さんの咳を浴びたときはもちろん午前から午後には全員取り換えるマスク、大量に消費する院内消毒用のアルコール、日に数十回擦り込む手指消毒用アルコールなどのおかげで、毎日新型コロナウイルス性、インフルエンザ陽性の患者さんを診療していても、僕は感染せずに済んでいるのかもしれない。

昨日旦那さんがコロナ陽性だったというさっきの患者さん



は、やっぱり自身も陽性だった。電話で結果を伝える。最近では暖かくなり発熱外来の患者さんも少なくなった。それ以外の患者さんも少ない。コロナ以前から患者さんは少なくなっていたが、コロナで一気に患者さんは減った。受診控え、

というだけではなさそうで、コロナ後も暇な状態は続く。男鹿市の人口が減っているからなのか、院長のテキトーな性格が地域に知れ渡りクリニックの評判が落ちてきているのか、多分両方なんでしょう。気が付けば最後の患者さんを診療してから1時間。

受付終了の時刻。「お掃除したら退社時刻を待たずに帰っていいよ」「いいんですか？ やったー」明るい声。春になった。今日はいい天気。桜が咲いた。スタッフは楽しそう。まあ、いいか。

次先生を指名しろとの編集  
長からの指示。実は男鹿湯上南秋には同期の先生がたくさんいる。K君、S・N君、S・H君、Y君、S・K君。でも今回は同じ外科医局の先輩、鹿島先生にお願いしたいなと思うのですがいかがでしょうか？ 先輩！ どうか一つ、よろしくお願いいたします。

# ナイトキッズ

## 黄色い声の威力

たむら船越クリニック (男鹿市)

田村 広美

奥さんのリクエストで郡山まで桜を見に来た。一昨日「ねえ、滝桜見に行きたい」と言い出した。何でも日本三大桜に数えられる三春の滝桜は、樹齢1000年以上といわれているシダレザクラで、桜の木として初めて国の天然記念物に指定されたもの、そいつが今満開らしい。

男、特に昭和の男は女子の(彼女は来週、友人や先輩と会いたいのだが、それを連中は「女子会」と呼んでいるので多分みんな今も「女子」なのだ)お願いに弱い。

昨夜仕事を終えたあと20時に秋田を出発。サービスイリアで

Good Luck！(キムタク主演のパイロットドラマ。ちなみに我が家には車中泊用に昔のドラマのDVDがいろいろある。あぶない刑事、踊る大捜査線はもちろん、最後から2番目の恋、パパはニュースキヤスター、カエルの王女さま、PRICELESS等々)を見ながら仮眠。滝桜が朝日に輝くところを堪能した帰りの高速道路。確かにちらつと左側に見えた景色は春爛漫という感じで素敵だった。ナビの表示は次のインターまで7.7km。黄色い声は大切だ。

終了間際にシュートを決められた。ふんわりと上がったボールは精一杯伸ばしたキーパーの5cm上を通過してゴールへ飛び込んだ。相手は男女共学クラスだった。試合中ずつと黄色い声の応援が飛んでいた。僕は男子クラス。「俺だって女の子の応援があればあと10cmは高く飛べた」向こうで女子とはしゃぐ相手チームを睨んだゴールキーパーのシューエツ君のセリフにチーム全員が強く頷いたのだった。

37年前、全校球技大会サッカーの試合。3年生のチーム相手にいい試合をしていた僕は

それがたとえレモン色から40年熟成されて山吹色に

「あつ、あそこキレイ！花桃がいっぱい」車内に流れている白井貴子に負けない音量で助手席の女子が黄色い声を上げる。



元木山公園の椿  
(潟上市)

椿がよく咲いていた 豆腐を  
買いに行く (山頭火) 前段と後

## 編集後記



なっている。

というわけで、僕はさっそく無言で次のインターで降りた。もちろん、さっきの景色を女子に見せるために。僕の突発的な寄り道や進路変更になれた奥さんも何の疑問も口にしな。高速道路を目安にあつちこつち回り道しながら10kmほど戻る。さつきちらつと見えた風景を二人で探す。あつた！ 高速道路のわきに広がる田んぼの向こうの高台。菜の花の群生の奥に花桃

が満開だ。モンシロチョウが20羽以上、レモン色の菜の花の間を飛び回っている。ウグイスの声。春だなあ。

家に着いたのは16時。昨日は休肝日だった。車中泊の時は飲まないことにしているから。毎年この時期に奥さんが作るタケノコご飯、タケノコの味噌汁。おじいちゃんたちが今日採ってきたというタラの芽の天ぷら。息子が小学校の時のボーイスカウトの遠征で買ってきたぐい飲みで飲むクライヌリツシユ。

彼は先週外国へ旅だった。うん、春なんだなあ。なんとなく軽やかな気分になりながら2杯目を注ごうとしたところに黄色い(？)声が。

「今度はあしかがフラワーパークに行きたいな」

〈酔〉



千秋公園お堀に遊歩道ができた (中土橋から)

段の渋いコントラスト▼若い地方公務員の退職が増えていく。膨大な業務量と長時間労働、コロナワクチン接種に伴う休日出勤や国から次々届く業務指示に悲鳴を上げた。人員削減と相対的な待遇悪化、住民の過剰要求への対応、カバーする余裕のない上司に絶望…。これでは椿がきれいだからといって豆腐を買いに行く気にはなれない▼今回も多数の玉稿に感謝。岩

村先生ご自慢のSUVを離れたタイヤが八ヶ岳の麓を転がってゆく。壮絶な光景だ▼今野先生のベンベーター談義、BMWの鼻がキドニーグリルと呼ばれているとは知らなかった。営業マンと30年ものお付き合いとはモチがいい▼秋元先生の自治医大ラグビー部入りの動機と運転免許取得の経緯はともかく、アロハシャツの免許証を見てみたかった▼悩みの種が可能性の種へと

成長してゆくお嬢さんと裏方の苦勞を楽しむ千夏先生の姿が微笑ましい。8月12日、いざアトリオン！▼井川町の多分「スズキ」で働いておられた父上に憧れた善昭先生。お爺の軽トラ記憶。豊かな子供時代だった▼最後の1行「恐山の赤い風車」に思いを込めた一樹先生。車に事寄せた文明批評は今回も鋭い▼範明会長の手術未遂事件はご本人から直接うかがった。気がか



大川清一氏（三郷町在住）



大川清一写真展ギャラリートーク  
（県立美術館5月6日）

りだった未遂の費用に納得▼1歳児を背に日々診療と5人の子育てに励む静和先生。少子化の世にあつて越川家は超のつく表彰もの。当会報に育児エッセイを連載して頂きたい▼柴田暢介先生は自らの筋トレを通じ患者さんの健康寿命を延ばそうと奮闘している。それが地域貢献につながるという信念に喝采▼ベテラン田村芳一先生が新しく仲間となった。今後もよろしく▼伊藤奈瑠美さんと小林さやかさんの糖尿病療養アドバイザーに感謝。治療のない療養に気が滅入る患者さんは多い。助っ人を続けて頂きたい▼恵先生ご推薦の

2冊。心とからだを楽にする処方箋、老いても一番若い「今」を意識する処方箋。新鮮で心地よい励みになった▼関啓二先生の「ゆるす心」は会津男児の戊辰戦史観を裏付けるものとみた▼1年ぶりに医師への信頼が蘇った肥田野先生、3度目の正直とならぬよう祈る▼昨年7月に五城目を襲った洪水。原因究明も復興も遅いと憤る大窪先生。体制批判の舌鋒は復活した▼連載ナイトキャップと今日の診察室からの2本寄稿の田村先生、勉強会記事の吉田記者に謝々▼冬の山懐に入り避難小屋か雪洞で吹雪の到来をひたすら

待つ：吹雪が登山者のトレース（スキーや靴の跡）を全て消し去り、樹氷もさらに大きさを増すからだ。食料を切り詰め、10日〜2週間待つ事もある。それが私のやり方だ：仙南出身の大川清一氏の圧倒的な山の写真展が県立美術館で開催。ご覧頂けなかった方は写真集のお求めを▼112号は9月発行予定。ご協力をよろしく。

（編集長・佐々木康雄）



チューリップと桜  
（ブルームッセ4月22日）

表紙説明

チューリップ・パブル  
（ブルームッセ秋田・潟上市）

佐々木康雄

（千葉克介写真教室）

1600年代のオランダは国力絶頂期であった。48年にスペイン王国から独立するまでの前半世紀、先端の製材技術で巨船を建造し、香辛料などのアジア貿易で財を成す。商人や富裕市民らはレンブラントやフェルメールら芸術家を支援した。

それでも金がある。トルコから入ったチューリップが人気を呼び、球根価格は36年に暴騰、極端な例では1個で家1軒を新築できたという。が、翌年急落、借金までして投機に狂奔していた人々は大損した。世界初のパブルとその崩壊を連想しながら撮影した1枚。

お便りは 〒018-1401

潟上市昭和久保字町後173-42  
ハートインクリニック 佐々木 康雄

医師会メールアドレス info@oknmed.jp